

事務事業名	内水排除整備事業		会計	一般会計	実施区分	継続		
			事業種別	政策	開始	12 終了		
H29作成課等名	地域計画課	H29係等名	調査計画係	H28担当課等名	地域計画課			
基本計画上の位置づけ	政策	4	暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり					
	施策	41	災害対策の推進					
目的	対象(誰・何を)	松尾地区の水害が想定される区域		対象指標	指標名及び単位		28年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	生命と財産を守る			過去に被災した土地 (ha)	57.5		
	向上させたい上位施策の成果指標	市民が災害に備えている割合 (%)			過去に被災した土地にある家屋等 (戸)	153		
目標	種別	指標名及び単位		27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度実績	備考(指標変更など)
	成果指標	排水ポンプ整備により排水される水量(m3/分)		90	90	90	90	
	成果指標	排水操作までに要する時間(分)		18	18	18	18	
定性目標								
事業概要	<p>天竜川が増水し、松尾地区から天竜川へ流出する河川(祝井沢川、金色洞沢川)の水位を上回った場合、逆流を防ぐためにひ門が閉鎖される。これにより、地区内河川の流出先がなくなるため、排水ポンプを操作し天竜川へ内水を排除する。</p> <p>平成12年度から、排水ポンプ車を順次導入し、さらに職員、地元(竜水開発組合)、地元業者による内水排除体制を確立している。災害時に適切な対応ができるよう、操作員の技量向上、機器の整備を行っている。</p> <p>1号車 ブーム付き排水ポンプ車(平成12年度導入 30m3/分)→平成23年度 排水ポンプ車(30m3/分)更新、積載型トラッククレーン購入</p> <p>2号車 クレーン付き排水ポンプ車(平成12年度導入 30m3/分)</p> <p>3号機 排水ポンプ設備(平成15年度配備 30m3/分)</p>							
28年度事業内容	事業内容			名称		活動指標		
	1 災害時の内水排除対応(待機を含む)			1 災害時対応(稼働)		1 稼働 0回		
				災害時対応(待機)		待機 4回		
	2 排水訓練の実施(4、5、7月)			2 訓練回数		2 3回		
	3 毎月のポンプ車等定期点検の実施(年間12回)			3 点検実施回数		3 12回		
	4 排水ポンプ等の点検(10~11月)と車輛・機器の法定点検			4 法定点検回数		4 1回		
5 天竜川上流河川事務所、飯田建設事務所との連携			5 連携回数		5 1回			
事業コスト		27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足		
事業費計(千円)①		1,607	1,637	1,622	0			
国庫支出金								
県支出金								
起債								
その他								
一般財源		1,607	1,637	1,622				
人件費計(千円)②		0	0	0	0			
正規職員所要時間								
臨時職員所要時間								
総事業費①+②		1,607	1,637	1,622	0			
事業内容・目標達成状況の振り返り		<p>出勤すべき事態はあったが、稼働するには至らなかった。</p> <p>関係機関や地域と協働で実施している訓練及び操作マニュアルの整備によって、従事者の操作方法習得に努め目標を達成することができた。平成23年度に更新した機器により作業性は向上していることから、引き続き操作方法の習得に努める。</p>						
改革改善の考え方	①問題点	わかりやすい操作マニュアル等を整備し訓練の継続が必要である。機材については、適切な点検、修繕、更新をしていく必要がある。職員体制について、水害時の管理班の約6割が内水排除現場対応となっている。						
	②改革提案	いつでも稼働できる体制を維持していく上で、従事者の訓練等については、操作方法の習得に向けて継続して行う。機材の点検、修繕を行うとともに、経年により更新等を計画的に実施していく。また、職員体制を検討する。						